

平成27年度 1年間の人権教育の取組〈滝窪小学校〉

1 研究のテーマ

互いを認め合い、伸び伸びと生きる子供の育成
～学校・家庭・地域社会の連携を通して～

2 研究のねらい

互いを認め合い、伸び伸びと生きる子供を育成するために、学校・家庭・地域社会の連携した取組が有効であることを実践を通して明らかにする。

3 研究の内容

(1)「授業づくり」の取組

道徳の授業において、一人一授業の授業実践を行った。研修推進委員会を中心として、低・中・高学年ブロックに分かれ、道徳における指導・評価の工夫や授業研究、指導案検討を行った。ブロックごとに授業を必ず参観し、目標および視点が達成されていたか、言語活動の手立ては適切だったかの二観点から分析をした。授業実践および授業研究会を行うことで、効果的な指導のあり方を探ったり、授業研究をとおして明らかになったことを次の授業に生かしたりして実践につなげていくことができた。

(2)「人間関係づくり」の取組

ア 検査等の活用

hyper-Q Uを実施し、分析を行った。全職員で分析に基づいた学級経営についての研修を行い、情報交換や共通理解をすることができた。検査の結果を、児童の日常の観察と対比することができ、その後の学級経営に生かすことができた。

イ 児童同士の交流を考えた活動

代表委員会が中心となり様々な集会活動を行い、児童主体の自主的な活動を目指した。7月の七夕集会では、いじめをなくすための願いを各クラスで考え発表し掲示した。2月の豆まき集会では、クラスで改善したいことを退治したい鬼として短冊に書き、発表し掲示した。

また、月1回1～6年生までの団をもとにした班でたてわり活動を実施した。6年生を中心に遊びを考えみんなで遊ぶことで異学年の交流を深めることができた。



ウ 家庭・地域との連携

人権に関する授業や活動の様子を「人権だより なかま」として地域や保護者に発信した。また、学校支援ボランティアやPTAと連携し読み聞かせを行うことで、読書を通じて心豊かな児童を育成することを目指した。学校公開日には各学年で道徳の授業を実施し、人権教育の取組を公開した。

二学期には福祉体験協議会の方に来ていただき、福祉体験学習を行った。低学年では視覚障害者の方との交流、中学年ではブラインドウォーク、高学年では車椅子体験や高齢者疑似体験を行い、理解を深めることができた。

エ 人権週間の設定

人権週間を設定し、この期間は集中的に人権に関する学習を行った。

保健委員会では世界エイズデーに合わせてレッドリボンやDVDを作成し、エイズへの理解を深めようと呼びかけた。

学級では、人権に関するDVDの視聴を道徳や学活の時間に行った後人権標語を作成した。代表者が集会で標語を発表し、廊下にも掲示した。

全体では、人権擁護委員の方に来ていただいて人権集会を行った。いじめに関する寸劇を鑑賞し、友達と仲良くするためにはどうしたらよいか全校で考えることができた。



オ 教職員研修の充実

「学校いじめ防止基本方針」について、昨年度作成したものを見直した。また、月一回クラスで行っている生活アンケートについて時系列で記録を残すことで、学校全体でいじめの未然防止に向けて取り組んだ。

4 成果と課題等

(1) 研究の成果

○学校全体で道徳の授業作りについて研修を行ったことによって、目指す児童像に向けて実践を行い、自分の思いを表現できるような授業作りに向けて研究を深めることができた。

○集会やたてわり活動など、異学年での交流をする機会が増えたことにより、休み時間や登下校中に高学年が低学年と一緒に遊んだり声をかけたりする場面が多く見られるようになった。

(2) 今後の課題

○来年度に向けて、本校で行っている人権に関することをもう一度見直し体系的に整理する必要がある。人権教育と学校行事との関連や地域との連携など、人権教育の進め方について学校全体で考えていきたい。